

ついに開始!
13歳から受けられる

自宅で検査!

ピロリ菌検診

【検査内容】 尿素呼気試験・便中ヘリコバクター・ピロリ抗原検査

【料 金】 ¥8,000(税込)

【対 象 者】 13歳以上の方

※妊娠中(可能性を含む)の方、授乳中の方は
お受けいただけません。

ピロリ菌とは

ヘリコバクターピロリ(Helicobacter pylori)

ピロリ菌は、**ヒトからヒトへ経口感染**する細菌です。環境因子や家庭内感染などいくつかの感染経路が考えられますが、**特に乳幼児期に感染しやすい**と考えられています。成人以降の感染はまれです。衛生環境が整ったことによってピロリ菌に感染している人の割合は年々減少しています。しかし、まだ撲滅できていないわけではありません。

胃カメラをせずにピロリ菌検査ができる

現在、保険診療でのピロリ菌検査が認められるのは、胃カメラ検査で胃炎が認められた方のみです。つまり、胃カメラ検査を行わないとピロリ菌の検査はできません。ハードルの高い**胃カメラ検査を行わずにピロリ菌検査をするのが「ピロリ菌検診」**です。

ピロリ菌が陽性であった方には除菌治療をおすすめしますが、自費診療で行うか保険診療で行うかはご相談の上で決定します。

なぜピロリ菌を検査・除菌するか

ピロリ菌に胃が感染することで生じる胃炎により、**胃がんや胃潰瘍・十二指腸潰瘍が発生**しやすくなります。そして、ピロリ菌を**内服薬で除菌することで胃がんの発生や再発を半数～3分の1に減少**させることができ、**胃潰瘍・十二指腸潰瘍の再発をほぼゼロ**に抑制できることがわかっています。したがって、ピロリ菌を除菌することで多くの方が恩恵を受け、次世代への感染を予防することができます。その結果、胃がん撲滅や医療費削減に寄与すると考えています。

次のような方におすすめ

- ☐ 家族がピロリ菌陽性なので、自分も心配
- ☐ ピロリ菌は気になるけれど、胃カメラはやりたくない
- ☐ 親のピロリ菌が感染していないか心配(お子さん)
- ☐ ピロリ菌を以前除菌したが、最近検査をしていないので気になる
- ☐ 子どもが生まれるので家族のピロリ菌について調べておきたい
- ☐ 胃がんの家族歴があるので心配
- ☐ 胃バリウム検査で「胃粘膜不整」と言われたが、胃カメラを受けていない

検査の流れ

健診センター窓口にてお申し込み
・問診・検査料金お支払い・検査キットお渡し
お薬手帳をお持ちの方は必ずご持参ください
※お飲みの薬によっては、
検査ができない場合があります。

ご自宅で検査し、キットを**健診センター窓口**に提出

2週間程度

郵送にて結果報告

陽性の場合

お電話にて消化器内科外来の受診予約
外来にて除菌について医師と相談

